

「暮らしをささぐった道具」

## 郷土資料館収蔵品紹介 78

# 石油ランプ

江戸時代末に外国から日本に伝わった灯火具です。

金属製やガラス製の油壺あぶらづぼに

石油（灯油）を入れ、口には

口金くちがねをつけ、油を吸った綿

の灯芯とうしんに火をつけます。「火屋ほや」（ガラス製の筒）で火

が消えないように風から守り、火屋の上に広い範囲ま

で明るくなるように反射用の笠をつけていました。

灯芯は調節ねじで長さを変えて、炎の明るさを調整

できました。吊り下げるものと置いて使うものどが

ありました。



石油ランプのあかりは、なたね油やろうそくを使っ

たそれまでの日本の灯火具「行灯あんどん」や「燭台しょくたい」のあかり

よりも明るくて、人々は大変驚いたといわれます。

石油の価格がなたね油より安かったこともあり、石

油ランプは広く使われるようになり、電灯がつくま

では家庭の大切な灯火具でした。

毎日使う石油ランプの火屋の内側は、石油が燃えた

時に出るすすで黒く汚れてしまします。火屋の掃除

は手の小さな子どもの仕事でした。

坂祝町郷土資料館（J Aめぐみの坂祝支店3階）の

次回の開放日は、令和二年十二月十一日（金）（午後

一時から三時まで）です。ぜひご観覧ください。

# 広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

在りし日の酒豪の父と新酒かな

栗を剥く指衰えぬ米寿かな

木犀の香り探しや朝散歩

青き空友も新酒も恋しかり

杉玉を吊し新酒や飛驒の里

空青く田畑敷きつむ蕎麦の花

青天へ梯子を伸ばし松手入

故郷は大き懐柿灯る

手のひらで拭く文机良夜なる

岡本 憲子

岡本 憲子

田口 孝和

田口 孝和

長瀬 静子

長瀬 静子

兼松 禎子

兼松 禎子

ほぎもん

## 坂祝町の情報をお届けしています!



### さかほぎろう!

パーソナリティ: 小栗かおる  
毎月第三火曜日  
18時~18時20分

次回ゲストは、樋管操作人の皆さんです。お楽しみに!

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。  
FMららアプリダウンロード QRコードはこちら。



# 12月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



### 不燃ごみ等収集日 24日(木)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。  
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

### 資源物収集日 20日(日)

時間: 8時から10時  
場所: 町内各自治会公民館  
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池